



68

ちやや おせん茶屋

埼玉県草加市神明1丁目

草加市は、埼玉県の東南端に位置し、首都への東南の入口として、市を南北に縦断する国道4号やこれに平行した東武鉄道など産業・経済の大動脈ががよ交通の要衝の街である。〔文化・観光〕草加松原、三覚院の格天井板絵、歴史民俗資料館、草加市民まつり（9月）



草加市は旧日光街道（現国道四号線）沿いにひろがる町である。当市では、街の機能を再生し、人々のふれあいや出会いの場、街をながめる視点場、市民文化の地域小拠点など、草加らしい界隈性を創出するよりどころとして、「街角修景計画」を制定した。

「おせん茶屋」はこの計画に沿って、かつての草加宿をほうふつとさせる街角の文化拠点として、街道沿いに整備した。名称は草加せんべい発祥の故事にちなみ「おせん茶屋」と名付け、木造平屋瓦葺の茶屋と松や桜、築山などの庭園で構成してある。

魅力ある街角広場として、道を行き交う市民が気軽に茶屋の濡れ縁を利用するなど、人々のふれあいの場となっている。また毎月朝市が開かれるなど、地域の催しにも利用され役立っている。